

【主な出来事】

●ルカシェンコ大統領、第一副首相の交代を決定(11/29)

●世銀、ベラルーシ経済予測を下方修正。

●ミンスク市、2019年10月の平均月給1542ルーブルと先月対比1.7%増加。

大統領動静

(11/29 大統領府公式サイト)

●第一副首相の交代を決定(11/29)

ルカシェンコ大統領は、トゥルチン第一副首相を解任し、クルトイ経済大臣を第一副首相へ任命した。

第一副首相の解任について、ルカシェンコ大統領は、「そろそろ彼は、独自の作業を行う時期である。」と発言している。また、アナトリー・イサチェンコ現ミンスク州知事の状態も関連している。

クルトイ経済大臣の任命については、トゥルチン第一副首相の推薦があったものとされる。ルカシェンコ大統領は、同氏任命について「クルトイ氏は、東側、西側とも十分に対話ができるベラルーシの愛国者である。ロシアとの統合ロードマップ作成作業は依然彼が担当するが、必要な限り我々は支援をする。現時点で作業チームのリーダーを交代する必要はない。また同作業完了まで数日である。今後も作業が継続する様であれば、落ち着いて役職を交代する。」

(11/29 大統領府公式サイト)

●ミャスニコヴィチ共和国院(上院)議長と協議(11/29)

ルカシェンコ大統領はミャスニコヴィチ上院議長に、2020年2月以降のユーラシア経済委員会委員長への就任を要請した

(11/29 大統領府公式サイト)

●コチャノヴァ大統領府長官及びザシ国家安全保障会議国家書記と会談(11/29)

ルカシェンコ大統領は、ザシ国家安全保障会議国家書記と、同氏の2020年1月以降の集団安全保障条約議長就任に関して協議した。

●キルギスに訪問し、集団安全保障条約(CSTO)サミットに出席(11/29)

ルカシェンコ大統領の発言要旨は以下の通り。

・大国同士の国際的な政治・経済対立を強く懸念する。これらは現状の国際安全制度に深刻な影響を与える。とりわけ、INF条約失効は危険である。そのため、ベラルーシは各国の訪問団に対し欧州における中射程および短射程ミサイルの不設置を提案してきた。

・ベラルーシの悲しい歴史を考慮し、ベラルーシはヘルシンキ宣言のように広く、国際的な対話の必要性を要請してきた。

・他方で、CSTOの枠組みにおける協議を深掘りしていく用意もある。既存メカニズム崩壊に際し、欧州方面における軍事ポテンシャルの段階的拡大に向かっている。とりわけここ数年、ベラルーシ周辺国におけるNATOの活動は何倍にも拡大している。我々は新たな軍拡競争を必要としていない。

・CSTOの国際的な権威の強化に賛同する。そのため、他の国際組織と協力を拡大していく必要がある。ベラルーシが提案したCSTO枠内の法的ステータス「パートナー」と「オブザーバー」が役に立つであろう。信頼できる同盟者を本組織の活動に引き込むことで、テロや麻薬との戦い、軍事安全保障の集団的結束の効率が高まるであろう。

・また、NATOとの直接で平等な対話も焦眉である。CSTOとNATOこそがバンクーバーからウラジオストクまでの安全保障を担っている。欧州安全保障協力機構とは定期的かつ建設的な対話がなされている。国連ともより密接して協力していく必要がある。

・CSTO の優先分野としては情報セキュリティの強化である。現代の安全に対する脅威は、情報分野における国際的な協力と相互信頼の向上の必要性を指している。これに関連し、ベラルーシは、バーチャル空間における責任行動原理を設定する情報分野における緊張の緩和に向けたデジタル善隣帯の設立を提案している。

(11/28 大統領府公式サイト)

●ソーロンバイ・ジェーンベコフ・キルギス大統領と会談(11/28)

ルカシエンコ大統領は、集団安全保障条約機構議長国としてのキルギスの功労を労うと共に、両国の貿易高拡大に向けた意欲を示した。

(11/28 大統領府公式サイト)

外交

●クラフチェンコ外務次官、ムーア在ベラルーシ米国臨時代理大使と会談(11/27)

(11/27 ベラパン通信)

経済

【対外経済】

●ベラルーシ 2019 年 1 月 10 月貿易高、去年同期対比 1.6%減の 591 億 9890 万ドル

(11/30 ベラパン通信)

●世銀、ベラルーシ経済予測を下方修正。

2019 年 7 月時点の世銀のベラルーシ GDO 成長率予測は、2019 年 1.8%、2020 年 1.3%、2021 年 1.2%であったが、今回は 2019 年 1%、2020 年 0.9%、2021 年 0.5%と下方修正した。

(11/28 ベラパン通信)

●EU・ベラルーシ 2019 年 1～9 月の貿易高、去年同期対比 9.2%減少の 117 億 2270 万ドル。

ベラルーシから EU への輸出額は、昨年対比 17.3%減少の 64 億 3650 万ドル、EU からの輸入額は昨年対比 3%増加の 52 億 8620 万ドル。

なお、貿易高の国別割合は以下の通り。

ロシア:48.7%

ウクライナ:8.3%

中国:6.2%

ドイツ:4.2%

英国:3.9%

ポーランド:3.7%

リトアニア:2.1%

オランダ:1.7%

ブラジル:1.3%

カザフスタン:1.3%

米国:1.2%

イタリア:1.2%

トルコ:1.2%

(11/26 ベラパン通信)

【国内経済】

●ミンスク市、2019 年 10 月の平均月給 1542 ルーブルと先月対比 1.7%増加。

分野別の同市平均給与は以下の通り。

情報 4355.4 ベラルーシルーブル

鉱山 4348.9 ベラルーシルーブル

航空 3133.7 ベラルーシルーブル

電話通信 2067.1 ベラルーシルーブル

石油精製 2071.4 ベラルーシルーブル

化学 2060.5 ベラルーシルーブル

財務 2022.9 ベラルーシルーブル

卸 1818.1 ベラルーシルーブル

仕業 1786.9 ベラルーシルーブル

学者 1709.5 ベラルーシルーブル

建設 1580.6 ベラルーシルーブル

林業 1336.9 ベラルーシルーブル

小売 1198.4 ベラルーシルーブル

医療 1149.6 ベラルーシルーブル

教育 995.3 ベラルーシルーブル

司書 802.8 ベラルーシルーブル

なお、ベラルーシ他地域の平均月給は以下の通り。

ミンスク州 1125.2

ゴメリ州 1015.1 ベラルーシルーブル
グロドノ州 980.5 ベラルーシルーブル
ブレスト州 979.6 ベラルーシルーブル
ヴィテプスク州 954.1 ベラルーシルーブル
モギリョフ州 936.6 ベラルーシルーブル
(11/26 ベラパン通信)

●2019年1月～10月、公務員月給 894.5 ルーブルと
昨年同期対比 1.1%増加。
(11/26 ベラパン通信)

軍事・治安

●ベラルーシ国防省、チェコ国防省と軍備管理分野
における二国間の協力について協議。
(11/26 ベラパン通信)

(了)